



2025年6月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年2月14日

上場会社名 株式会社リファインバースグループ 上場取引所 東
 コード番号 7375 URL https://www.r-inverse.com
 代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 越智 晶
 問合せ先責任者（役職名） 経理財務部長（氏名） 蓮池 智嗣 TEL 03 (6281) 4879
 半期報告書提出予定日 2025年2月14日 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有

（百万円未満切捨て）

1. 2025年6月期第2四半期（中間期）の連結業績（2024年7月1日～2024年12月31日）

（1）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年6月期中間期	2,099	13.4	129	269.8	114	455.2	95	522.6
2024年6月期中間期	1,850	△20.2	35	△44.5	20	△53.4	15	△47.7

（注）包括利益 2025年6月期中間期 95百万円（522.6%） 2024年6月期中間期 15百万円（△47.7%）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年6月期中間期	28.67	—
2024年6月期中間期	4.62	4.59

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年6月期中間期	3,574	224	4.5	48.24
2024年6月期	3,365	130	1.9	19.57

（参考）自己資本 2025年6月期中間期 161百万円 2024年6月期 65百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年6月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2025年6月期	—	0.00	—	—	—
2025年6月期（予想）	—	—	—	—	—

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は定款において第2四半期末日及び期末日を配当基準日と定めておりますが、現時点では当該基準日における配当予想額は未定であります。

3. 2025年6月期の連結業績予想（2024年7月1日～2025年6月30日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,145	7.6	230	603.9	195	—	175	—	52.36

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社(社名)一、除外 一社(社名)一

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2025年6月期中間期	3,348,421株	2024年6月期	3,348,421株
② 期末自己株式数	2025年6月期中間期	137株	2024年6月期	137株
③ 期中平均株式数(中間期)	2025年6月期中間期	3,348,284株	2024年6月期中間期	3,338,227株

※ 第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況(4)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料及び決算説明会内容の入手方法)

決算補足説明資料は、当社ウェブサイトに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
（1）当中間期の経営成績の概況	2
（2）当中間期の財政状態の概況	3
（3）キャッシュ・フローの状況	3
（4）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
（1）中間連結貸借対照表	4
（2）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
（3）中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
（4）中間連結財務諸表に関する注記事項	9
（継続企業の前提に関する注記）	9
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）	9
（セグメント情報）	9

1. 経営成績等の概況

(1) 当中間期の経営成績の概況

当社グループは、前期に引き続き既存事業でコスト削減を進めながら、今後の成長の核となる新規事業領域の拡大に向けて、持続的な成長のための事業基盤の強化、推進に努めてまいりました。また、SDGsやサーキュラーエコノミーの文脈において事業機会が相当数増加しており、事業化の取組みを加速しております。

素材ビジネスにおいては、当社の主力製品である再生塩化ビニルコンパウンド「リファインパウダー」の引き合いが前期に引き続き好調なことに加え、2023年11月1日に設立された日本リサイクルカーペット協会に参加しリサイクルカーペットの更なる普及に取り組んでおります。また、再生ナイロン樹脂「REAMIDE®」(リアミド)は、製品の高品質化への取組みを強化し付加価値向上を進めると同時に国内外を問わず外部企業等との連携や弊社技術のライセンス供与等の取組みも進めており、今後は更なる収益・利益増加を目指してまいります。また、ソリューション事業においては、社会的に資源循環へ取組みが加速しており、資源循環における当社グループのノウハウへの引き合いが増加しております。顧客と連携した再資源化技術開発、ライセンス提供先への技術指導、設備設計業務受託などで収益源が拡大しており、ライセンス供与と併せて収益増加を進めてまいります。

資源ビジネスにおいては、顧客の課題解決に取組む提案型営業を指向すると同時に、オペレーションの見直しやリソース配分の最適化を行いながらDX化等を進めたことで生産性が向上しており、安定的に利益を確保しております。また、新規事業領域となる廃プラの収集・再資源化への取組みを加速し、既存事業での安定的な成長とともに収益基盤の強化に努めております。

この結果、当中間連結会計期間の経営成績は、売上高2,099,150千円(前年同期比13.4%増)、営業利益129,859千円(前年同期比269.8%増)、経常利益114,360千円(前年同期比455.2%増)、親会社株主に帰属する中間純利益95,986千円(前年同期比522.6%増)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

また、記載のセグメント別の金額はセグメント間取引の相殺前の数値です。

① 素材ビジネス

素材ビジネスにつきましては、脱炭素、資源循環の流れを受けリサイクルカーペットの需要増加に伴い廃カーペットタイルを再資源化した再生塩化ビニルコンパウンド「リファインパウダー」の引合いが増加しております。一方で、廃タイルカーペットタイル回収量との需給ギャップが発生していましたが、廃タイルカーペットの回収拡大策が奏功し需給ギャップは収束しつつあります。その結果、売上高は前年同期比で増収となりました。また、自動車エアバッグの基布や廃棄漁網等を再資源化したナイロン樹脂「REAMIDE®」(リアミド)は、最終製品の仕様を踏まえた高品質化を進め付加価値の向上を図っており、特にアパレルや成型パーツ向け等の複数の業界との取引の増加を見込み、新たな事業領域へ拡大・成長に取り組んでおります。また、当社自動車エアバッグ基布リサイクル技術や廃漁網リサイクル技術の海外企業へのライセンス供与やライセンス先への技術指導等による収益案件の獲得を進めております。しかしながら、当中間連結会計期間においては、REAMIDE®の高付加価値化シフトによる受注獲得が遅れており、前年同期比で減収となっております。更に、三菱ケミカル株式会社が実施する油化ケミカルリサイクルへの廃プラ原料供給のサプライチェーン構築を進めており、事業成長に向けた先行投資を実施しております。

この結果、売上高は642,791千円(前年同期比3.8%増)となり、セグメント利益は5,758千円(前年同期比90.7%減)となりました。

② 資源ビジネス

資源ビジネスにつきましては、顧客の課題解決に取組む提案型営業により大口顧客の獲得を進めると同時にオペレーションの見直しやリソースの最適化を行い、産業廃棄物処理事業で過去最高水準の利益水準を維持しております。収集運搬・中間処理を一括受注できる体制と資源循環を推進するサービスを強みに営業活動を強化したことに加え、DX化の推進による廃棄物処理状況の可視化など顧客の課題解決を図る取組みが功を奏し、既存顧客からの受注獲得に加え新規大口顧客からの受注も増加しており、原状回復工事の受注獲得も含め受注件数は前年同期対比で大幅に増加しております。また、三菱ケミカル株式会社向け油化ケミカルリサイクル用廃プラの収集だけでなく広範な廃プラを収集する仕組みの構築を進めており、廃プラの資源循環を加速しております。

この結果、売上高は1,490,851千円(前年同期比18.2%増)、セグメント利益は354,155千円(前年同期比39.5%増)となりました。

（2）当中間期の財政状態の概況

（資産）

当中間連結会計期間末における流動資産は1,484,842千円となり、前連結会計年度末(以下「前年度末」という)と比べ176,015千円増加しております。これは主として現金及び預金が235,211千円増加、未収還付法人税等が29,477千円減少したことによるものです。

当中間連結会計期間末における固定資産は2,089,441千円となり、前年度末と比べ32,350千円増加しております。これは、主として有形固定資産が20,169千円増加したことによるものです。

（負債）

当中間連結会計期間末における流動負債は1,136,801千円となり、前年度末と比べ126,650千円増加しております。これは主として1年内返済予定の長期借入金が51,954千円、支払手形及び買掛金が32,117千円増加したことによるものです。

当中間連結会計期間末における固定負債は2,212,744千円となり、前年度末と比べ12,814千円減少しております。これは、主として長期借入金が35,885千円減少したことによるものです。

（純資産）

当中間連結会計期間末における純資産は224,738千円となり、前年度末と比べ94,528千円増加しております。これは、主として利益剰余金が95,986千円増加したことによるものです。

（3）キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間における現金及び現金同等物は、733,729千円(前年同期比7.0%減)となりました。当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は331,185千円(前年同期に得られた資金は105,945千円)となりました。これは主として、税金等調整前中間純利益112,280千円、減価償却費112,640千円及び売上債権の減少額28,193千円によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果支出された資金は99,504千円(前年同期に支出された資金は29,592千円)となりました。これは主として有形固定資産の取得による支出97,944千円によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果得られた資金は3,530千円(前年同期に支出された資金は147,026千円)となりました。これは主として長期借入れによる収入260,000千円及び長期借入金の返済による支出243,931千円によるものであります。

（4）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年6月期の通期の連結業績予想につきましては、2024年8月14日の決算短信で公表しました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年6月30日)	当中間連結会計期間 (2024年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	511,956	747,168
受取手形、売掛金及び契約資産	526,783	498,589
商品及び製品	133,328	107,311
仕掛品	24,298	20,516
原材料及び貯蔵品	37,354	49,486
前払費用	30,686	37,304
未収還付法人税等	29,477	—
その他	17,454	25,582
貸倒引当金	△2,512	△1,116
流動資産合計	1,308,827	1,484,842
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,269,682	1,321,169
機械装置及び運搬具	1,290,033	1,310,387
工具、器具及び備品	102,995	113,635
土地	520,100	520,100
リース資産	340,987	345,788
減価償却累計額	△1,728,527	△1,795,640
有形固定資産合計	1,795,271	1,815,441
無形固定資産	12,027	13,140
投資その他の資産		
投資有価証券	20,000	20,000
繰延税金資産	47,892	49,415
敷金及び保証金	192,896	205,218
その他	23,428	18,376
貸倒引当金	△34,425	△32,150
投資その他の資産合計	249,791	260,859
固定資産合計	2,057,091	2,089,441
資産合計	3,365,918	3,574,283

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2024年6月30日)	当中間連結会計期間 (2024年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	152,046	184,163
短期借入金	50,000	80,000
1年内返済予定の長期借入金	475,224	527,178
リース債務	65,613	63,353
未払金	104,540	111,254
未払費用	108,032	99,235
未払法人税等	11,047	19,814
未払消費税等	26,273	33,522
受注損失引当金	690	—
その他	16,683	18,280
流動負債合計	1,010,151	1,136,801
固定負債		
長期借入金	1,958,664	1,922,779
リース債務	109,264	107,567
繰延税金負債	53	—
資産除去債務	157,575	158,040
その他	—	24,357
固定負債合計	2,225,558	2,212,744
負債合計	3,235,709	3,349,545
純資産の部		
株主資本		
資本金	162,885	162,885
資本剰余金	203,768	203,768
利益剰余金	△300,876	△204,890
自己株式	△251	△251
株主資本合計	65,526	161,512
新株予約権	64,682	63,225
純資産合計	130,209	224,738
負債純資産合計	3,365,918	3,574,283

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書
(中間連結損益計算書)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年7月1日 至 2023年12月31日)	当中間連結会計期間 (自 2024年7月1日 至 2024年12月31日)
売上高	1,850,373	2,099,150
売上原価	1,252,090	1,411,208
売上総利益	598,283	687,942
販売費及び一般管理費	563,162	558,083
営業利益	35,120	129,859
営業外収益		
受取利息	3	77
助成金収入	969	—
その他	649	2,237
営業外収益合計	1,622	2,315
営業外費用		
支払利息	15,146	17,547
その他	1,000	266
営業外費用合計	16,146	17,813
経常利益	20,596	114,360
特別利益		
固定資産売却益	8,117	578
新株予約権戻入益	221	1,984
特別利益合計	8,339	2,563
特別損失		
固定資産除却損	1,605	4,643
特別損失合計	1,605	4,643
税金等調整前中間純利益	27,331	112,280
法人税、住民税及び事業税	7,728	17,871
法人税等調整額	4,186	△1,576
法人税等合計	11,915	16,294
中間純利益	15,415	95,986
親会社株主に帰属する中間純利益	15,415	95,986

(中間連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年7月1日 至 2023年12月31日)	当中間連結会計期間 (自 2024年7月1日 至 2024年12月31日)
中間純利益	15,415	95,986
中間包括利益	15,415	95,986
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	15,415	95,986
非支配株主に係る中間包括利益	—	—

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年7月1日 至 2023年12月31日)	当中間連結会計期間 (自 2024年7月1日 至 2024年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	27,331	112,280
減価償却費	110,060	112,640
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	5,136	△3,672
受取利息及び受取配当金	△3	△77
支払利息	15,146	17,547
固定資産除売却損益 (△は益)	△6,512	4,064
新株予約権戻入益	△221	△1,984
売上債権の増減額 (△は増加)	84,039	28,193
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△31,635	17,668
仕入債務の増減額 (△は減少)	△14,456	32,117
未払金の増減額 (△は減少)	11,723	7,230
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△25,285	11,049
未収消費税等の増減額 (△は増加)	—	1,678
その他	△1,437	△8,835
小計	173,883	329,901
利息及び配当金の受取額	3	77
利息の支払額	△16,158	△17,623
法人税等の支払額	△58,997	△11,373
法人税等の還付額	7,215	30,203
営業活動によるキャッシュ・フロー	105,945	331,185
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	—	△0
有形固定資産の取得による支出	△30,004	△97,944
有形固定資産の売却による収入	10,612	5,179
無形固定資産の取得による支出	△9,714	△5,185
敷金及び保証金の差入による支出	△655	△2,212
敷金及び保証金の回収による収入	170	660
投資活動によるキャッシュ・フロー	△29,592	△99,504
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	—	30,000
長期借入れによる収入	150,000	260,000
長期借入金の返済による支出	△252,066	△243,931
新株予約権の行使による株式の発行による収入	244	—
リース債務の返済による支出	△30,448	△35,389
割賦債務の返済による支出	△14,756	△7,149
財務活動によるキャッシュ・フロー	△147,026	3,530
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△70,673	235,211
現金及び現金同等物の期首残高	859,517	498,518
現金及び現金同等物の中間期末残高	788,844	733,729

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

【セグメント情報】

I 前中間連結会計期間(自 2023年7月1日 至 2023年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計
	素材ビジネス	資源ビジネス	計	
売上高				
外部顧客への売上高	589,719	1,260,653	1,850,373	1,850,373
セグメント間の内部売上高 又は振替高	29,407	767	30,174	30,174
計	619,126	1,261,421	1,880,548	1,880,548
セグメント利益	62,042	253,838	315,880	315,880

2. 報告セグメント利益又は損失の金額の合計額と中間連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	315,880
セグメント間取引消去	5,382
未実現利益の調整額	△478
全社費用(注)	△285,664
中間連結損益計算書の営業利益	35,120

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び技術試験費であります。

Ⅱ 当中間連結会計期間（自 2024年7月1日 至 2024年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			合計
	素材ビジネス	資源ビジネス	計	
売上高				
外部顧客への売上高	608,787	1,490,363	2,099,150	2,099,150
セグメント間の内部売上高 又は振替高	34,003	488	34,492	34,492
計	642,791	1,490,851	2,133,643	2,133,643
セグメント利益	5,758	354,155	359,914	359,914

2. 報告セグメント利益又は損失の金額の合計額と中間連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

利益	金額
報告セグメント計	359,914
セグメント間取引消去	△390
未実現利益の調整額	△368
全社費用(注)	△229,296
中間連結損益計算書の営業利益	129,859

（注） 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び技術試験費であります。